

小学生が卒業生に向けて花束づくりに挑戦！

▼発生年月日：2024/3/14

▼執筆者名：瀬尾 龍右

▼センター名：小豆農業改良普及センター

▼部門分類：花き

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：農政水産部

▼備考：公開

▼本文

1) 3月14日、小豆島町立池田小学校においてJ A香川県青壮年部の主催により、「花育教室」が開催され、同校の4年生児童29名が参加して、卒業生に向けた花束づくりやフラワーアレンジメントに挑戦しました。

2) 児童らは、まず、県オリジナル品種「てまりシリーズ」を栽培する生産者の温室に集合して、普及センターの職員から、ランンキュラスの説明や小豆島の特産物であるキク栽培について学び、その後、各々がハサミを持ち、色とりどりの花が咲く温室の中で、気に入った色のランンキュラスを収穫していきました。児童らは普段、体験できない収穫作業に興奮気味で、あちこちで歓声が上がっていました。

3) 収穫体験後、学校に戻り、講師の生花店「パンセ」代表西脇氏の指導のもと、卒業生に贈る花束づくりに挑戦しました。J A青壮年部のスタッフに手伝ってもらいながら、ランンキュラスやシュッコンカスミソウを使って上手に花束を作り上げると、メッセージカードを添えて花束を完成させていきました。

続いて、自分たちのお家に飾るフラワーアレンジメントの作成に取り掛かり、ランンキュラス「てまりシリーズ」やカーネーション「ミニティアラシリーズ」を使って思い思いの作品を仕上げました。

今回、作った花束は翌15日の卒業式で4年生から直接、卒業生に手渡すことになっています。

4) 普及センターでは、今後も地域と学校を結ぶ取り組みを積極的に支援し、子供たちの農業に対する思いをサポートしてまいります。



児童の収穫の様子



アレンジメントを作成している様子